

# News Release

平成20年3月7日

パイオニア株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 須藤 民彦  
 (コード番号 6773 東証第一部)  
 問合せ先 常務取締役経理部長 岡安 秀喜  
 電 話 (03) 3494-1111

## 平成20年3月期 連結業績予想の修正について

平成20年1月31日に発表した平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の通期連結業績予想について、本日発表の事業構造改革等に伴い、次のとおり修正することとなりましたので、お知らせします。

(金額単位 百万円)

	営業収入	営業利益	税引前利益 (△損失)	当期純利益 (△損失)
前回発表予想(A)	800,000	10,000	26,000	6,000
今回修正予想(B)	800,000	10,000	7,000	△15,000
増減額(B-A)	0	0	△19,000	△21,000
増減率(%)	0.0	0.0	△73.1	—
〔ご参考〕 前期実績(平成19年3月期)	797,102	12,487	△7,717	△6,761

営業収入および営業利益については、前回発表予想からの変更はありません。

税引前利益については、ホームエレクトロニクス事業において、プラズマディスプレイ生産設備について190億円の減損を見込むことから、前回発表予想を下回ります。また、当期純利益についても、上記の減損に加え、繰延税金資産の評価に伴う税金費用の増加20億円を見込んだことにより、前回発表予想を下回ります。

なお、事業構造改革等の詳細については、本日付の別途発表資料『ディスプレイ事業の構造改革および企業価値向上に向けた取り組みについて』をご覧ください。

### 見通しに関する注意事項

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いいたします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)継続的な新製品導入、急速な技術開発、厳しい価格競争、主観的で変化しやすい消費者の嗜好等を特徴とする、競争の激しい市場において、評価の高い製品やサービスを継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)事業に影響を与える技術進展に応じて、競争し、販売戦略を策定、成功させる能力、(6)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(7)ブランドイメージを継続的に向上させる能力、(8)他社との合弁や提携の成功、(9)事業構造改革の成功、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

以上